

2024年9月6日
株式会社ムラヤマ
代表取締役社長 齋木透匡

セキュリティインシデント調査結果と対応策のご報告

本年7月18日に報告いたしましたセキュリティインシデントに関して、外部専門家の協力のもと調査を進めてまいりました。この度、外部専門家によるフォレンジック調査が完了しましたので、調査結果と現状及び今後の対応策について報告いたします。

本件に関してお取引先ならびに関係先の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、また調査が長期に及びご報告まで時間を要しましたことを併せて深くお詫び申し上げます。

調査概要

本件では不正アクセスにより弊社が使用するサーバーが被害を受け、保存していたデータが暗号化されました。不正アクセスによる攻撃はVPN機能を悪用して弊社ネットワークへ接続したと判断できる痕跡が残っており、ネットワーク経由で複数の機材へも攻撃が及んでいた挙動も確認されました。そのため被害が及んだ可能性のあるサーバーに対しては情報漏洩の痕跡の調査を行い、外部とのデータ通信記録も複数の経路に対し調査いたしました。

情報漏洩

被害を受けたサーバーは外部へ情報漏洩した痕跡は無く、漏洩の事実は確認されておりません。また通信記録の側面からも侵害時間帯のデータ通信量は、極めて微量であることが判明しております。さらに現時点では外部に不正に公開されている事実もございません。このような調査結果などから、弊社といたしましては情報漏洩の可能性は極めて低いと判断しております。

しかしながら漏洩についてはあらゆる可能性を完全に否定することはできない為、今後も監視を継続し公表すべき事実が判明した場合には、速やかに報告いたします。

現状及び今後の対応策

被害が判明した直後に社内ネットワークは全て遮断いたしました。その後、業務で使用するPCは全てウイルスチェックを行ったうえ、更なる安全確保のために初期化を実施いたしております。ネットワーク機器とソフトウェアについては外部専門家や有識者の指導のもと刷新を進め、社内ネットワークへアクセスする認証方法の厳格化とパスワードのルールの強化を行いながら、安全性が確認できた箇所から順次ネットワークへの接続を再開しております。

社内体制につきましては、システム部門を再構築・強化するとともに、強固なセキュリティを有する新たなネットワークシステムへ順次移行しております。外部専門会社へも継続的に安全性の診断を依頼し、セキュリティ対策への投資を継続してまいります。

今後も本件に対応する対策本部は継続させ、新たな事態が判明した場合には速やかに対応し、関係する皆様へ報告いたします。

今回のセキュリティインシデントに於きましては、お取引先ならびに関係先の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけして申し訳ございません。本件を真摯に受け止め、システムの再構築のみならず、セキュリティ関連規則の再整備と従業員に対するセキュリティ教育の徹底により運用面での再発防止策に対しても取り組んでまいります。不測の事態に備えたインシデントに対する体制整備も行い、包括的に管理体制を見直すことにより、お取引先の皆様へ安心していただける環境を構築してまいります。

本件の問い合わせ先

株式会社ムラヤマ セキュリティインシデント対策本部 murayama-pr@murayama.co.jp